

ベトナム EC 市場、2026 年に本格加速へ

2025年5月7日 作成

カテゴリー ベトナム経済 経済動向 EC

ベトナム EC 市場、2026 年に本格加速へ

ベトナム電子商取引協会（VECOM）は、2024 年のベトナム国内の電子商取引市場規模が約 320 億ドルに達し、前年比 27% 成長したと推定している。オンライン小売は 225 億ドルにのぼり、小売全体の 11% を占める。EC 比率は世界平均と比べると依然低いが、今後大きな成長が見込まれる。特に、これまで外国企業による市場シェア獲得を優先した投資や、税制上の緩和措置が成長を後押ししてきたが、2025 年からは新たな法制度の整備が進み、環境が大きく変化する見通しである。

2026 年からは、国家電子商取引発展マスターplan、電子商取引法、税制、越境 EC 政策などの整備が本格化し、ベトナム EC は第 4 段階に入り、より持続的かつ高度な成長フェーズに入るとされる。

2025 年の主な市場動向として、AI や高度な分析ツールの導入は限定的である一方、SNS を活用した広告が主流で、広告予算は年間 1,000 万ドン未満が大半を占める。また、EC を活用した輸出は依然限定的で、売上構成比は 10% 未満の企業が過半数。中国、韓国、日本が主な輸出先となっている。

さらに、企業のオンライン決済ではインターネットバンキングが 91%、現金支払いも 88% と根強い。行政サービスでは電子納税が最も活用されており、今後は EC 研修や貿易促進イベントへの支援が求められている。

以上